

健康と医療

健康と医療についてゲストに語っていただくコーナーです

いきいきゼミナール

テーマ「リウマチクリニックにおける看護師の役割」

ゲスト 佐川昭リウマチクリニック 佐川 昭 院長



んの容体をみつめ、医師の診察だけでは分からなかった問題点を発見することがチーム医療の狙いの一つです。看護師の介在は、患者さんと医師のコミュニケーションには必須です。

高齢化社会を迎え、リウマチ患者さんの高齢化が進むとともに、高齢発症の患者さんも増えております。高齢者はフレイルという虚弱状態に陥りやすく、リウマチの治療を継続し

なければ、身体機能の低下で寝たきりになる可能性もあります。そこで大切なのは、個々の患者さんが希望される治療内容や社会的背景(医療・福祉制度の利用状況など)を十分に考慮しながら、治療(通院)の継続を支えていくことです。その中で大きな役割を果たすのが、医師以上に患者さんと長い時間向き合っている看護師の存在であると私は考えます。

看護師は、患者さんが家事などの日常生活に不便を感じたり、医療費を負担に感じたりしていないかなど、個々人の背景を把握するよう努めることも仕事の一部です。患者さんが利用できるさまざまな制度について

情報提供をするなど、それぞれがよりよい人生を送るために、日々の生活をどのように過ごし、どう治療の継続につなげていくかという個別指導の取り組みも重要になります。

患者さんが新たに医療・福祉制度を利用し、さまざまなサービス、支援・助成を受けるというリウマチのトータルケアの一助となれるように日々努力を積み重ねることも看護師の責務です。

看護師が自己研鑽して培ってきた技能やアイデアを活かし患者さんに貢献することでチームとしての医療体制が整い、よりよいリウマチ診療を生み出すことができるでしょう。

病院
訪問

佐川昭リウマチクリニック

リウマチ・膠原病の早期発見と早期治療を目指し、先進的な医療にも積極的に取り組みリウマチ専門クリニック。丁寧な検査と的確な診断のもと親身な説明と納得のいく治療で常に患者本位の体制を貫いています。



住 所／札幌市中央区北1条西7丁目
バシフィックマークス札幌北1条5階
電話番号／011-271-0770
診療受付／月～金曜 9:00～17:00
※完全予約制
休 診 日／土日曜・祝日
院 長／佐川 昭 副院長／古崎 章

企画制作／北海道新聞社営業局